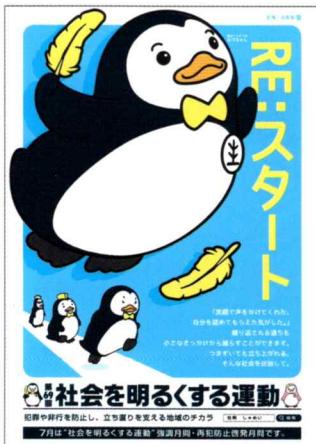


保護司会会報

■発行 西多摩地区保護司会 会長 三ツ木謙三郎 ■編集 西多摩地区保護司会 広報委員会 ■発行日 令和元年7月15日



塩船観音（青梅市）



目次

・ 西多摩地区保護司会総会	2
・ ク リー 役員名簿	3
・ 統括保護観察官・主任保護観察官挨拶	4
・ 西多摩地区保護観察協会会长挨拶	5
・ ク 正副会長、表敬訪問	5
・ 各部事業計画・社会参加活動	6
・ 多摩連理事会・更生保護女性会総会	7
・ 会務報告	8

平成三十一年度 西多摩地区保護司会総会

令和元年7月15日

四月二十六日（金）午後三時より福生市もくせい会館において、平成三十一年度西多摩地区保護司会定期総会が東京保護観察所立川支部宇田統括保護観察官、多摩地区保護司会連絡協議会野崎会長、西多摩地区保護観察協会会长代理・福生市福島副市長ほか多数のご来賓ご臨席の下、盛大に開催されました。

開会の前に、今年三月にご逝去されました松本則夫副会長を偲び黙祷を捧げました。

小澤進副会長による開会のことばに始まり、齋藤徹会長の挨拶では、これまでの更生保護活動の取り組みや、課題である保護司の安定的確保等についての報告がありました。又、ご来賓と保護司会員に対する感謝の言葉が述べられました。

資格審査報告では八分区から一〇〇名の保護司が出席し、委任状は三十部提出され本総会の成立が宣言されました。

続いて議長選出を行い、議長には佐久間砂由利奥多摩分区長を選出し議事が進められました。

平成三十年度事業報告、収支決算報告、監査報告、平成三十一年度事業計画（案）、収支予算（案）がいずれも満場一致で承認されました。

次に、平成三十一年度役員の選出についての提案があり、会長、副会長、理事が選任可決されました。又、顧問の承認についての提案があり、齋藤徹氏の顧問就任が承認されました。

議事終了後、新役員の紹介があり、三ツ木謙三郎新会長より挨拶をいたしました。又予定でしたが、体調不良により欠席されましたので司会の宮澤正弘副会長が新会長から寄せられた就任挨拶状を代読されました。

続いて、退任保護司、退任役員への感謝状・記念品の贈呈があり、退任保護司を代表して高橋秀夫氏より謝辞が述べられました。

来賓祝辞では宇田統括保護観察官から「再犯の防止等に関する法律に基づき、再犯防止推進計画が策定されました。安全・安心の社会を築くため、保護司の皆様に対する期待が増々高まっています。今後とも皆様のご支援とご協力をお願いします。」と話されました。

その他にも多数のご来賓各位から心温まるご祝辞をいただきました。

最後に中村經男副会長の閉会のことばで総会が滞りなく終了しました。

（広報部 原島悟）



坂本 西多摩桐友会 会長

野崎 多摩連 会長

宇田 統括保護観察官



会場風景

西多摩地区保護司会役員名簿

理事				理(会計)事		理(庶務)事		理常任事								副会長		役職				
指田 勇	郡司 光志	高村けい子	川杉 英治	森本久仁子	玉川 薰	辻本 惠子	中野 修	平井 成泰	福田 宮夫	新井みゆき	佐久間砂由利	対馬伸一郎	乙津 豊彦	小野 静江	倉持 恭子	岸野 穂	原島 悟	中村 経男	小林喜代子	宮澤 正弘	氏名	分区所属部
羽 村	福 生	福 青梅	生 青梅	あきる野 あきる野	青 梅	日の出 日の出	羽 村	福 生	檜 原	青 梅	奥 多摩	日の出 日の出	福 生	瑞 穂	羽 村	あきる野 あきる野	青 梅	福 生	羽 村	三ツ木謙三郎	分区所属部	
研修部				総務部				広報部		活動部		地域		研修部		総務部		広報部長		地活部長		
顧問	監事			理事																役職	氏名	分区
斎藤 徹	山田 みな	小峰 恒夫	吉中 順子	杉村 誠二	村上 浩	鈴木 忠茂	内田 正敏	木下 義彦	池田 政次	高橋 洋子	小林 悦雄	小林 一郎	遠藤 一彦	森田 洋子	齊藤 博文	竹田 良昭	山森 健吉	須藤 芳正	関谷 忠	新井 俊數	分区	所属部
福 生	日の出	瑞 穂	羽 村	奥 多摩	あきる野 あきる野	羽 村	福 生	青 梅	青 梅	檜 原	奥 多摩	瑞 穂	あきる野 あきる野	羽 村	福 生	青 梅	福 生	日の出	瑞 穂	研修部	研修部	所属部
				広報部				地域活動部														

新分区長の紹介



向かって右から
青 梅 新井分区長
福 生 乙津分区長
奥 多 摩 佐久間分区長
檜 原 福田分区長
瑞 穂 小野分区長
あきる野 岸野分区長
山森 分区長
倉持分区長

日の出 對馬分区長
以上八名の方が選出されました。
二年間よろしくお願ひ致します。

着任の御挨拶



東京保護観察所
立川支部
統括保護観察官
宇田 紀之

す。例えば、親からの児童虐待や高齢者施設での暴力事件、子どもを巻き込んだ事故や事件など、これからも社会経済の急激な変化により、さまざまな社会問題が起き、想定できない事故や事件が増していくようと思われます。

この4月、さいたま保護観察所から転任してまいりました。立川支部の勤務は2回目となります。保護司の皆様の少しでもお役に立つことができますよう努めさせていただきますので、御支援、御指導を賜りますよう、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成31年度が始まりますと、早々に元号が改元され、令和という新たな時代を迎えることとなりました。

令和には、人々が美しい心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つこと、梅の花のように日本人が明日への希望を咲かせる国でありますようにとの願いが込められているとのことです。これからも令和に込められた日本のよき文化や自然、そして日本人のけがれのない清らかな心が忘れられることがなく続いていくことを願っています。

さて、最近の社会状況に目を向けて、これまであまり耳にしなかったような事件が次々に起きていま

更生保護は、被害者の視点を維持しながら、これからも人に対する信頼や真の心の交流を求めてきた更生保護の活動が、犯罪や非行を犯した者を社会の中で孤立することなく「RE・スタート」(リスタート)できる社会、そして、つまずいても未来に向かって再出発できる社会を目指し、安心して暮らせる社会が実現できます。以上に求められていくものと思います。

今年は、更生保護制度が施行されて70周年を迎えます。これも保護司の皆様や関係者の皆様の途絶えることのない努力により、地域において更生保護が重要な役割を果たしてこられたことによるものだと確信しております。

保護観察所としても、保護司の皆様や関係者の皆様のお力を賜り、協働して犯罪や非行のない明るい社会を実現するため、努力して参りますので、これからもどうぞ御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご挨拶



東京保護観察所
立川支部
主任保護観察官
南 かず枝

者の数も減少し、事件内容等も様変わりしていますが、その一方で、自分を受け止め認めてほしいと願う対象者の思いは、今も昔も変わっていないように思っています。

毎月保護司の皆様から報告書からは、そのような対象者の思いが伝わり、またそれぞれの対象者に寄り添い、粘り強く真摯に対応していただいている様子を拝見させていただきます。私も大きな力をいただいているところです。

毎月の接触や家族との関係調整など、大変ご苦労をおかけしています

が、毎日の地道な処遇の積み重ねが一歩ずつでも対象者の改善更生に繋がるものと信じ、これからも引き続きお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

もうずいぶん昔の話になりますが、保護観察官になつて間もない頃に、一度西多摩地区を担当させていただきましたことがございました。何も分からぬ中で、保護司の皆様から実際にいろいろな事を教えていただき、また多くの経験をさせていただきました事を、懐かしく思い出しています。

今回のように思い出深い地区で、再び保護司の皆様と一緒に仕事をさせていただきますことを楽しみにしています。

当時に比べますと、保護観察対象



再犯防止の取組み に向けて



西多摩地区
保護観察協会
会長
青梅市長
浜 中 啓 一

であります。

犯罪や非行をした人が、社会に戻った後、再び罪を起こすことなく、社会復帰を果たすことができるよう、保護司の皆様による献身的な支援は、地域社会の安全・安心の確保につながっております。

あわせて、再犯防止啓発月間である7月に毎年実施している「社会を明るくする運動」等を通じ、広く住民の理解や関心を深め、地域の力を結集することにより、今後益々地域社会の健全化が図されることを期待しております。

今年度は、「平成」から、「令和」への新たな時代が幕を開けました。

新元号「令和」は、厳しい寒さの後に、春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりが明日の希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせることができるようないい願いが込められているとのことです。

この「令和」の時代にあたり、西多摩地区保護観察協会では、引き続き、その目的であります犯罪予防更生保護事業の拡充を図り、明るい地域社会の発展に寄与することとしており、今後も保護司の皆様の活動を支援してまいります。

また、我が国が実施した再犯防止対策に関する世論調査では、「犯罪をしめた人たちの立ち直りに協力したいと思うか」との問い合わせに、53%の方が「思う」と回答したことがあり、この結果を心強く受け止めたところ

成28年12月に「再犯の防止等の推進に関する法律」を施行し、翌年には、再犯防止推進計画を策定しました。更に、安全で安心して暮らせる社会を実現するために、「10の再犯防止アクション宣言」と称して、重点的に推進する施策も決定しました。

また、我が国が実施した再犯防止対策に関する世論調査では、「犯罪をしめた人たちの立ち直りに協力したいと思うか」との問い合わせに、53%の方が「思う」と回答したことがあり、この結果を心強く受け止めたところ

副会長（四名）



総務部長
宮澤正弘



研修部長
小林喜代子



地域活動部長
中村經男



広報部長
原島悟

三ツ木会長（欠席）、四人の副会長と分區長が八市町村長を表敬訪問しました。ご多忙中対応して下さり、日頃の西多摩地区保護司会へのご支援に感謝を申し上げました。

安心安全な町づくりのため保護司活動を全面的に応援すると力強いお言葉を頂き、行政と保護司会の連携が大切であることを改めて感じた訪問でした。

〈訪問日〉

五月十日

日の出町・あきる野市

福生市・羽村市

十四日

檜原村・青梅市

瑞穂町・奥多摩町

（広報部 原島悟）

表敬訪問



あきる野市役所
市長室にて



各部の事業計画

- (3) その他の研修
 - ・多摩地区保護司会連絡協議会
主催による研修

◎総務部

- (1) 諸会議の開催
- (2) 総務部が主催するその他の会議（協議会）の開催
- (3) 更生保護相談（定期駐在）実施に対する協力
- (4) 総務部が担当する事業
 - ・サポートセンター及び西口会議室の管理
 - ・新年会の準備
 - ・実務担当者会議の開催

◎地域活動部

- (1) 社会貢献活動
- (2) 社会を明るくする運動
- (4) 西多摩地区地域活動推進のための講演会 シンポジウムの開催

◎広報部

- (1) 会報発行
- (2) 編集会議
 - 年三回 各回八ページ
 - 発行ごとに数回
- (3) 送付先
 - ・西多摩八分区
 - ・多摩連九地区保護司会
 - ・西多摩桐友会
 - ・西多摩更生保護女性会
 - ・警視庁 福生・五日市・青梅警察署

社会参加活動に参加して

地域活動部 對馬 伸一郎

本年度第一回社会参加活動が、六月二十三日（日）にあきる野市草花にある「介護老人福祉施設麦久保園」で実施されました。同園での活動は今年で二十一回目になります。

今回は少年四名、東京保護観察所立川支部の坂本観察官と保護司十二名の参加で、午前十時にオリエンテーションから始まりました。

佐久間地域活動部副部長の司会により、中村部長、坂本観察官の挨拶の後、窪嶋施設長の挨拶と担当職員の紹介、作業の説明がありました。

長い人生を歩んで来られた方々に對し尊敬の念をもつて接して欲しいこと、活動で知り得た情報を不特定多数の人々に触れさせないこと等の施設長の話を、少年たちは緊張した面持で聞いていました。

午前中は三グループに分かれての活動でしたが、前日の雨の為、裏山での美化活動が出来ず、地活部男性保護司たちは、一、二階の外側からの窓拭きを行いました。少年たちと担当保護司等による二グループは二、三階の廊下と居室の清掃、同洗面台の美化や内側からの窓拭きに取り組みました。

午後は、押し花を使った作業療法のお手伝いをしました。和やかな雰囲気の中、入居者の方たちと一緒に海をイメージしたカードを作りました。

作業終了後に少年たちに感想文を書いてもらいましたが、「素晴らしい体験が出来て大変嬉しかった。」「多くの方と一緒に過ごせて幸せでした。もう一度来たいです。」「会話が楽しかった。来年就職なので、よい体験が出来た。」等の言葉が寄せられました。

最後に坂本観察官の園に対する謝辞と講評、中村部長の挨拶があり、午後四時に終了しました。



- (2) 地区自主研修
 - ・観察官による実務研修
 - ・SST自主研修 八月二十二日（木）開催 あきる野市役所
 - ・新任保護司研修
 - ・各分区での処遇会議の推進

多摩連理事会開催

令和元年五月二十四日（金）午後二時から東京保護観察所立川支部會議室にて平成三十一年度理事会が開催されました。新役員が左記の通り決定しました。

記

会長 小山 典子

（町田地区会長）

副会長・総務部長 山田 拓男

（北多摩西地区会長）

副会長・研修部長 栗井 洋子

（日野・多摩・稲城地区会長）

副会長・地活部長 小山 茂

（北多摩東地区会長）

副会長・広報部長 高野 佳子

（府中地区会長）

監事 岡田 英一

（八王子地区）

（北多摩東地区）

この他、平成三十一年度事業報告・収支決算報告、令和元年度の事業計画・収支決算の審議・承認が行われ、新役員のもと新年度の活動がスタートしました。

総会後は、「“わはは脳トレ”」認知機能を高めましょう」のテーマで、福生市地域包括支援センターの佐野秀実保健師、椎塚貴子認知症支援コーディネーターに講演をしていただきました。

この他、平成三十一年度事業報告・収支決算報告、令和元年度の事業計画・収支決算の審議・承認が行われ、新役員のもと新年度の活動がスタートしました。

この講演を聞いて、皆様も生活習慣を見直すきっかけとなつたのではないかと思います。また、更夫活動を通しての人との交流などが、健康新なつながりを感じました。



令和元年度 西多摩地区 更生保護女性会総会

福生更女 原島任子

令和元年五月二十二日（水）西多摩地区更生保護女性会総会が、福生市もくせい会館において、約一〇〇名の出席を得て開催されました。

「綱領唱和」に続き、坂本洋子会

長の挨拶、加藤育男福生市長のご祝辞をいただきました。

議長には瑞穂地区の本橋善子様が選出され、「平成三十一年度事業報告・決算報告」、「令和元年度事業計画（案）・予算（案）」が満場一致で可決承認されました。

認知症の予防につながる生活習慣について具体的に教えていただきました。認知症は、脳の病気に加え、加齢、生活環境の変化等が原因となり、認知機能が低下し生活に支障が現れる状態のことと言います。

認知症の予防につながる生活習慣について具体的に教えていただきました。

・笑う：免疫力が高まる

・人と積極的に交流する：地域活動等

・適度な運動をする：有酸素運動等

・食生活に気を付ける：蛋白質を摂る等

・口の体操：口腔機能を鍛える

脳トレでは、クイズや手と指を使つた体操を行い、口の体操では、大きな口を開けて顔の筋肉を動かし、早口言葉のトレーニングも行いました。

笑いながら楽しく体操ができ、脳が活性化されたような気がしました。

講師からは、日々の生活の中でできることから予防に心掛けてほしいとのことでした。

総会後は、「“わはは脳トレ”」認知機能を高めましょう」のテーマで、福生市地域包括支援センターの佐野秀実保健師、椎塚貴子認知症支援コーディネーターに講演をしていただきました。

この講演を聞いて、皆様も生活習

慣を見直すきっかけとなつたのではないかと思います。また、更夫活動を通しての人との交流などが、健康新なつながりを感じました。



東京保護観察所
宮田所長
サポートセンター

視察

会務報告

退任保護司（敬称略）

令和元年五月十四日付三人の方が退任されました。長い間保護司活動への奉仕ありがとうございました。

生田 恵穂（あきる野分区）

（在職三十二年）

徳永 初枝（福生分区）

（在職十一年）

福島 德秀（瑞穂分区）

（在職九年）

新任保護司（敬称略）

令和元年五月十五日付左記の方が新たに保護司として委嘱されました。今後のご活躍を期待します。

悼

平成二十九・三十年度西多摩地区保護司会副会长 松本則夫
保護司がご逝去されました。生前のご功績をしのび、謹んでご冥福をお祈り申しあげます。

（合掌）

松本則夫様

（日の出分区）

平成三十一年三月八日逝去
享年七十二歳（在職九年）



星野 和弘
(青梅分区)



平井 裕
(あきる野分区)



星野 和弘
(青梅分区)

第一回理事会

令和元年六月十三日（木）福生市「もくせい会館」において第一回理事会が開催された。

中村副会長の挨拶で始まり宮澤副会長より報告事項があった。各部の年間活動計画が発表され、最後に原島副会長が「皆で協力し合ってやっていきましょう」と締めくくった。

新しいメンバーは次のとおりです。皆様には原稿や写真、またござい継ぎながら、さらに「読んでもらえる会報」を目標に部員一同頑張つてまいります。

新しいメンバーは次のとおりです。皆様には原稿や写真、またござい継ぎながら、さらに「読んでもらえる会報」を目標に部員一同頑張つてまいります。

本年度の広報部員

部長 原島 悟	(あきる野)
副部長 福田 宮夫	(檜原)
副部長 新井みゆき	(青梅)
部員 高橋 洋子	(青梅)
部員 池田 政次	(青梅)
部員 木下 義彦	(福生)
部員 内田 正敏	(羽村)
部員 鈴木 忠茂	(あきる野)
部員 村上 浩	(あきる野)
部員 杉村 誠二	(奥多摩)

編集後記